

2018（平成30）年度
滋賀県精神保健福祉士会 第18回総会 議案書

【日 時】 2018年5月20日（日） 13:15~16:30
【会 場】 滋賀県教育会館
大津市梅林1丁目4-15

滋賀県精神保健福祉士会 第18回定期総会・記念講演会

次第

12:50～ 受付

13:15～ 定期総会

((公社)日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会も併せて開催)

会長挨拶

議長選出

第一号議案 2017年度 事業報告

第二号議案 2017年度 会計・監査報告

第三号議案 役員改選

第四号議案 2018年度 事業計画(案)

第五号議案 2018年度 予算(案)

議長解任

(公社)日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会

14:15～ 休憩

14:30～ 記念講演

「精神医療の枠組み外し～私たちが『いま・ここ、からできること』～」

講師：竹端 寛氏(兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

16:30 閉会

第1号議案 2017年度 事業報告

1 定期総会

2017年 5月28日(日) 滋賀県精神保健福祉士会 第17回定期総会 滋賀県教育会館
定期総会 会則21条により成立

第1号議案：2016年度 事業報告(案)

第2号議案：2016年度 決算報告(案)

第3号議案：会則改正(案)

滋賀県精神保健福祉士会と日本精神保健福祉士協会滋賀県支部とは、連携した活動を行っていますが、当会と支部との役員の任期がずれていました。改選時期がずれることで不都合なことがあるため、2017年度(平成29年度)については当会の役員任期を1年として改選をさせていただきたいと考え、以下の会則改正を行い承認されました。

附則に5項を加える。

(附則)

(1～4略)

5. 第13条の規定について、平成29年度については役員の任期を1年とする。

第4号議案：役員改選(案)

第17期(2017年総会～2018年総会：1年任期)

会 長 西川健一(おおつ働き・暮らし応援センター)

副会長 池田健太郎(滋賀県立精神保健福祉センター)

門田雅宏(滋賀県健康医療福祉部)

理 事 井口 純(セフィロト病院)

岩瀬敏彦(社会福祉法人出合いの家)

梶 佳意子(琵琶湖病院)

葛原史博(滋賀県立精神保健福祉センター)

清水美紀(セフィロト病院)

杉山更紗(障害者相談・生活支援センターやすらぎ)

相馬佐保(湖南働き・暮らし応援センター)

監 事 勝見尚子(ふらっと)

荒田寛(龍谷大学)

事務局・・・セフィロト病院に置く。

第5号議案：2017年度 事業計画(案)

第6号議案：2017年度 予 算 (案)

すべての議案について承認されました。

2 理事会

会場は全て草津市立市民交流プラザ・会議室を使用。19:00~21:00

- 第1回 平成29年 6月14日(水)
- 第2回 平成29年 7月13日(木)
- 第3回 平成29年 9月13日(水)
- 第4回 平成29年10月12日(木)
- 第5回 平成29年11月 9日(木)
- 第6回 平成29年12月21日(木)
- 第7回 平成30年 1月16日(火)
- 第8回 平成30年 3月22日(木)
- 第9回 平成30年 4月18日(水)
- 第10回 平成30年 5月 9日(水)

3 各事業

今年度は、当会の活動の活性化と理事の負担の軽減・分散を目指し、全ての事業に担当副会長・担当理事を定め、事業の進捗管理を理事会の中で分担して行った。その結果、会員のニーズに応じた研修機会を持つことができた。

一方、組織基盤整備などの取り組みが十分に行えなかったことが課題である。

1) 企画事業（研修等事業）

個々の資質の向上、自己研鑽の機会の確保、会員の交流、精神保健福祉の発展の寄与等の目的のもと、研修等を企画することを目指しました。

2017年5月28日(日) 滋賀県精神保健福祉士会 第17回総会・記念講演

「どうする！これからの障害福祉の動向と課題」

講師 岩上 洋一氏

(特定非営利活動法人じりつ代表理事、全国地域で暮らそうネットワーク代表理事)

2017年7月15日(土) ソーシャルワーカーデーinしが2017

「熊本に学ぶ～震災時の対応について～」

講師 西田 剛氏(特別養護老人ホームいこいの家 事務局長)

2017年8月20日(日) 全体研修①

○基調講演 「アウトリーチの現在と未来」

講師 金井 浩一氏(ACT-K 相談支援事業所しほふぁーれ)

○シンポジウム

<シンポジスト>

梶 佳意子 (琵琶湖病院)

黒木 稔氏(地域生活支援センター風)

山崎 秀樹氏(さわらび福祉会甲賀・湖南ひきこもり支援『奏・かなで・』)

<コーディネーター>

杉山 更紗 (地域生活支援センターやすらぎ)

2017年10月15日(日) 三団体研修

「自己決定・意思決定支援とは？」

講師 中原 一隆氏 (大津市権利擁護サポートセンター)

<話題提供>

新居 加奈氏 (滋賀医科大学付属病院)

奥村 寛之氏 (大津市社会福祉協議会)

西川 健一 (大津働き・暮らし応援センター はっち)

2017年10月16日(月) 権利擁護研修(京都協会との共催)

「これから精神医療保健福祉はどこへ向かうのか

～精神保健福祉法改正とソーシャルアクション～」

講師 桐原 尚之 氏 (全国「精神病」者集団・運営委員)

長谷川 唯 氏 (立命館大学生存学研究センター客員研究員)

2017年11月12日(日) 全体研修②

「地域包括ケアシステムの到来に向けて」

講師 泉 洋一氏 (佛教大学福祉教育開発センター)

2018年1月20日(土) 2017年度 基幹研修 I in しが

「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」

講師 荒田 寛氏 (龍谷大学)

「精神保健福祉士の専門性 I」

講師 西川 健一 (おおつ障害者の生活と労働協議会)

シンポジウム

2018年2月17日(土) 全体研修会③

「若年認知症について学ぼう～基礎理解と医療現場から見る地域課題～」

講師 医師 宮川 正治氏 看護師 山根 貴子氏 (南草津けやきクリニック)

委員会活動等による勉強会の実施

・2017年7月24日(月)

「災害時の対応に関して」

講師 松岡 啓太氏 (大津市障害者自立支援協議会事務局)

・2017年12月14日(木)

「気分(感情)障害について」勉強会 ～うつ病と躁うつ病(躁病)の違いとは?～

講師 中島 聡氏 (中島クリニック院長)

2) 広報

滋賀県立精神医療センター・滋賀県立精神保健福祉センターにおいて広報部を組織し、精神保健福祉に関する様々な情報提供や会員同士の交流の場、各種研修実施の報告等を盛り込んだニュースレターの企画から作成・編集・郵送を年数回行っています。

広報誌「とことんPSW」の発行

NO.42 平成29年12月発行

ホームページによる情報発信の整備強化が課題となっていました。平成30年5月にホームページをリニューアルしました。インターネット社会を鑑みて、パソコンからのアクセスだけでなく、携帯電話からもアクセスしやすいようモバイルホームページの機能にも対応しています。今後は、リアルタイムな各種研修やイベント開催の案内、求人案内、広報誌の閲覧等の活用が図れるよう更なる機能の拡張に取り組みます。

「滋賀県精神保健福祉士会」

ホームページアドレス <http://shiga-psw.org/>

3) 施策制度検討事業

理事会において、施策動向等の情報共有や学習に努め、例年と同じく滋賀県社会福祉協議会の地域福祉施策検討委員会を通じて要望・意見表明を行った。

滋賀県精神医療審議会の場合などで、医療計画・福祉計画等などの策定に向けた議論の中で意見表明などを行った。

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課との協議の場合などの機会を持つことは今年度もできず、今後の課題として残っている。

4) 組織運営・基盤整備事業

当会の運営、事業執行への対応・組織体制の確立、運営基盤の整備を行うことを目指し、以下の活動に取り組みました。

① 組織の体制・基盤整備に関すること

会員へのメール配信の整備については、今後も新規入会した会員を中心にメールでの情報伝達等利便性の面からも積極的に取り組みました。

② 理事会の充実に関すること

今年度も原則月1回理事会を開催してきたが、開催時間等の問題もあり厳しい理事会運営となった。

③ ホームページに関すること

全面改訂し、公開した。

4 委員派遣・推薦・協力等

以下の関係機関・団体・審議会等について、委員の派遣・推薦・協力をしました。

- ・滋賀県社会福祉学会…実行委員、推進委員合同会議、滋賀県社会福祉学会に参加
- ・滋賀県運営適正化委員会（あんしんなっとく委員会）…苦情解決合議体委員
- ・滋賀県精神保健福祉審議会…委員派遣
- ・滋賀県障害者差別解消地域支援協議会…委員派遣
- ・滋賀県精神保健福祉協会・滋賀県地域福祉施策検討委員会…理事派遣
- ・精神保健参与員…推薦
- ・精神医療審査会…推薦
- ・滋賀県医療観察制度運営連絡協議会…委員派遣
- ・障害支援区分認定審査会委員の推薦

- ・「高齢者・障がい者 なんでも相談会」…派遣
- ・災害時における福祉的支援検討会…委員派遣
- ・滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議…委員派遣
- ・第 65 回精神保健福祉全国大会実行委員…委員派遣

5 関係団体等との連携

1) 県内関係団体

[3 団体関係] 滋賀県社会福祉士会・滋賀県医療ソーシャルワーカー協会
・滋賀県精神保健福祉士会

- (1) 3 団体合同研修会の実施
- (2) 滋賀県ソーシャルワーカーデーの開催

2) 全国・県外団体

[社団法人日本精神保健福祉士協会（以下 JAPSW）との連携]
支部報告参照

6 事務局

以下の業務を行いました。

- ・会員管理業務
- ・会計業務
- ・公文書、資料の管理など事務全般
- ・関係団体との連絡調整
- ・会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）

7 後援・協賛

- ・特定非営利活動法人 滋賀県精神障害者家族会連合会（鳩の会）
平成 29 年度近畿ブロック家族の集い 平成 30 年 2 月 11 日（日）
「精神障害を持つ方の地域生活を支えるために Q-ACT の軌跡と今後の展開～」
- ・特定非営利活動法人 滋賀県精神障害者家族会連合会 平成 30 年 2 月 27 日（火）
滋賀県自殺対策当事者活動等支援事業
「がんばらないけど、あきらめない生き方 2018」

8 会員数（平成 30 年 4 月 1 日現在）

正会員 101 名
準会員 2 名
賛助会員 2 名

第2号議案 2017年度滋賀県精神保健福祉士会収支決算書

収入

科目	2017年予算額	決算額	差額	説明
会費収入	314,000	317,000	△ 3,000	246,000円(72.6%)+過年度分: 71000円
支部活動協力費	64,500	64,500	0	1,500円×43名
基幹研修Ⅰ委託費	90,000	90,000	0	
雑収入	20,000	36,792	△ 16,792	利息:2円
繰越金	357,673	357,673	0	
合計	846,173	865,965	△ 19,792	

支出

科目	2017年予算額	決算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	13,000	8,263	4,737	切手・事務用品、封筒等
使用料・賃貸料	13,000	16,400	△ 3,400	理事会会場費等
旅費・交通費	70,000	64,320	5,680	役員会等交通費
負担金	10,000	10,000	0	精神保健福祉協会会費
予備費	20,000	0	20,000	
小計	126,000	98,983	27,017	
事業費				
総会費	150,000	132,889	17,111	講師謝礼・案内文郵送代等
研修会費	400,000	283,696	116,304	講師謝礼・案内文郵送代等
広報活動費	90,000	15,976	74,024	会報誌印刷・郵送代等
ホームページ管理費	60,000	60,000	0	
予備費	20,173	0	20,173	
小計	720,173	492,561	227,612	
合計	846,173	591,544	254,629	

収入決算額 865,965円と支出決算額 591,544円の差額 274,421円は、次年度に繰り越すこととする。


特別会計	
定期預金	201,459

2017年度会計監査報告

2017年度滋賀県精神保健福祉士会 会計収支決算において、諸帳簿および証拠書類の監査を行いました結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。


2018年 4 月 26 日

監 事

荒 田 寛 

2018年 5 月 / 日

監 事

勝 見 尚 子 

第4号議案 2018年度 事業計画（案）

事業方針

当会会則第3条の目的「本会は、精神保健福祉士の価値・知識・技術に則した専門職として脂質の向上に努めると共に、会員相互の交流、関係団体との連携、その他の社会活動を通じ、精神保健福祉の向上に寄与することを目的とする」を達成するため、以下の活動に取り組むことを事業方針とします。

1) 精神保健福祉を推進するための取り組み

- 権利擁護に関する取り組み
施策制度の検討・提言
当事者の方々からの苦情解決に対する規定の策定 等
- 関係団体との情報交換・協力・協働を目的とした取り組み
日本精神保健福祉士協会滋賀県支部との協力・協働関係を目的とした事業
- 災害支援に備えた取り組み
日本精神保健福祉士協会との協定に基づいた取り組み
滋賀県との協定に向けた取り組み

2) 会員の資質の向上のための取り組み

全体研修・・・担当理事を中心として、会員の協力の元で企画する。
年間概ね5回開催する。

新人研修の開催

委員会活動による勉強会の実施

権利擁護・就労支援・災害対策・その他

県内3団体での研修会、ソーシャルワーカーデーへの参画

日本精神保健福祉士協会と連携した事業

共催や後援事業による研修会等の実施ならびに会員への案内

3) 広報活動の充実

会報の発行、ホームページの充実 等

4) 事務局機能の移行・充実

局体制をセフィロト病院から相談・生活支援センターやすらぎに移行し、以下の事業を行います。

- 会員管理業務・・・年1回の現況調査を行い、会員登録者数の確定・会費の完全納入をはかります
- 組織拡大・ニーズの把握・・・事業運営・活動に反映できるよう、アンケートや広報誌を活用し、会員のニーズ把握に努めます

- 組織体制の整備…各種規程等の整備に努めます
- 会計業務、公文書、資料の管理など事務全般を行います
- 関係団体との連絡調整に努めます
- 会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）を行います。

5) 関係団体との連携に関する事業

当会の事業目的にそって、精神保健福祉分野をはじめ、関係団体・諸会議等への委員派遣や推薦、協力、連携を進める。

6) その他必要な事項

第5号議案 2018年度滋賀県精神保健福祉士会収支予算書（案）

収入

科目	2017年予算額	2018年予算額	差額	説明
会費収入	314,000	311,000	△ 3,000	101×3,000 4×2,000
支部活動協力費	64,500	70,500	6,000	47×1,500
基幹研修 I 委託費	90,000	0	△ 90,000	隔年で受託
雑収入	20,000	20,000	0	研修会参加費・利息等
繰越金	357,673	274,421	△ 83,252	
合計	846,173	675,921	△ 170,252	

支出

科目	2017年予算額	2018年予算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	13,000	10,000	△ 3,000	切手・事務用品等
使用料・賃貸料	13,000	16,000	3,000	理事会会場費等
旅費・交通費	70,000	70,000	0	役員会等交通費
負担金	10,000	10,000	0	精神保健福祉協会会費
予備費	20,000	30,000	10,000	
小計	126,000	136,000	10,000	
事業費				
総会費	150,000	150,000	0	講師謝礼・案内文郵送代等
研修会費	400,000	300,000	△ 100,000	講師謝礼・案内文郵送代等
広報活動費	90,000	30,000	△ 60,000	会報誌印刷・郵送代等
ホームページ管理費	60,000	30,000	△ 30,000	
予備費	20,173	29,921	9,748	
小計	720,173	539,921	△ 180,252	
合計	846,173	675,921	△ 170,252	

特別会計

定期預金	201,459
------	---------